

## 日本鉄鋼協会記事

### 理事会 (第9回)

日時: 1月27日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 湯川会長ほか 23 名.

報告事項 I. 第11回編集委員会に関する件. II. 第9回企画委員会に関する件. III. 第10回編集委員会に関する件. IV. 共同研究会に設備技術研究部会設置に関する件. V. 共同研究会特殊鋼部会長交代に関する件. VI. 標準化委員会に関する件. VII. 機械工業における鉄鋼材料規格実態調査のため日本機械工業連合会に対し補助金交付申請に関する件. VIII. 資料委員会に関する件. IX. 鉄鋼標準試料整備に関する件. X. 50周年記念事業委員会に関する件. XI. 来年度予算案に関する件. XII. 溶接学会溶接論文賞候補推薦の件. XIII. 土木学会吉田賞および吉田研究奨励金候補推薦の件.

協議事項 I. 表彰規程変更ならび褒賞表彰規程制定に関する件. II. 金属表面技術総合展示会協賛の件. III. 鉄鋼基礎共同研究会規程および運営委員会に関する件. IV. 評議員会開催に関する件. V. 12月中入退会その他会員異動に関する件. VI. 12月中収支決算に関する件.

### 企画委員会

第9回委員会 日時: 1月19日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 伊木委員長ほか 12 名.

議題 I. 来年度予算案に関する件. II. 金属表面技術総合展示会協賛の件. III. 溶接学会溶接論文賞候補推薦の件. IV. 土木学会吉田賞および吉田研究奨励金候補推薦の件. V. 表彰規程変更に関する件.

### 研究委員会

第10回委員会 日時: 1月22日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 村田委員長ほか 10 名.

議題 I. 講演会, 講習会の開催について. II. 設備技術共同研究に関する件. III. 鉄鋼基礎共同研究に関する件. IV. 標準化委員会に関する件.

### 編集委員会

第11回委員会 日時: 1月12日 16:00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 佐藤委員長ほか 18 名.

報告事項 I. 会誌14号 (12月号) の完成および1号 (1月号) 完成予定について. II. 会誌2号 (2月号) 原稿追加掲載について.

協議事項 I. 論文審査について. II. 会誌6号 (5月号) 掲載論文選定について. III. 依論文賞選考小委員会について. IV. 随想執筆依頼予定について. V. 50周年記念特集号「鉄鋼技術の進歩」について. VI. 特別報告書刊行について.

部会長委嘱 特殊鋼部会長石原善雄氏辞任. 後任に盤城恒隆氏 (大同製鋼株式会社常務取締役) を委嘱した.

賛助会員逝去 賛助会員久原房之助氏 (元通信大臣) は1月29日逝去されました. 謹んで弔意を表します. 同

じく賛助会員浅野良三氏 (萱場工業会長) が2月9日逝去されました. 謹んで弔意を表します.

### 共同研究会

#### 製鉄部会

第7回在京幹事会 開催日: 12月23日. 場所: 協会会議室. 出席者: 前田幹事 (代理) 他7名.

#### 熱経済技術部会

第30回部会 開催日: 12月9日. 場所: 川崎製鉄 (株) 目白寮. 出席者: 桑畑副部会長他12名.

#### 内容

1. 前回部会の議事録に従って懸案事項の検討を行なった.
2. 次回部会の議題および運営方法の検討を行なった.

#### 調査部会

幹事会 開催日: 12月3日. 場所: 協会会議室. 出席者: 斉藤幹事他8名.

幹事会 開催日: 12月25日. 場所: 協会会議室. 出席者: 斉藤幹事他9名.

### 標準化委員会

第3回幹事会 開催日: 12月2日. 場所: 協会会議室. 出席者: 木下幹事他15名.

炭素鋼標準成分小委員会・幹事会 開催日: 12月1日. 場所: 協会会議室. 出席者: 荒木小委員長他4名.

第1回炭素鋼標準成分分科会 開催日: 12月21日. 場所: 協会会議室. 出席者: 荒木主査他22名.

#### 内容

この分科会の幹事会社である八幡製鉄 (株) を中心にして作成した原案を検討した.

この種規格はほとんど例をみないので, その基本的性格の検討および各項目の検討を行なった.

検討結果は各社に持ち帰り, 次回には成文を作るべく努力することになった.

#### 第1回JIS「プレス用鋼板」原案作成分科会

開催日: 12月18日. 場所: 協会会議室. 出席者: 五弓主査他29名.

#### 内容

1. 原案作成に到る経緯の説明
2. 幹事 (川崎製鉄技術部) より, 第一次案作成の要点の説明
3. 資料に基づき, 第一次案の逐条審議を行なった. そのうち, 機械試験成績および寸法の許容差などに若干の問題があるため, あらためて, メーカー, ユーザー側とも検討を加え, 次回には原案をまとめ得るよう準備することとなった.

第1回 JIS 原案作成分科会 開催日: 12月15日. 場所: 住友金属工業東京支社会議室. 出席者: 河田主査他

22名。

#### 内容

“鋼材のチェック分析の許容変動”のJIS原案作成は住友金属工業を幹事会社として作業を行なっているが作成にあたり基本方針を決定するために各委員にアンケートを送ったのでこの集約結果の報告および基本方針の決定を行なった。

この結果に基づき幹事会社で原案の作成を進め2月2日の第2回の分科会に提出し検討する。

### 鉄鋼生産設備能力調査委員会

**第5回委員会** 開催日：12月16日。場所：協会会議室  
出席者：沢村委員長他28名。

#### 内容

本年3月鉄鋼生産設備能力算定方式の答申案を作成したが作成を急いだため検討不十分な点があり見直しを行なうようにという会長の指示があつた。この結果各分科会にて再検討を行なった結果を報告したが全部承認され近く通産省に提出する運びとなつた。なお本委員会はこの算定方式を適当な時期に見直しを行なうことも予定し存続する。

### 製鋼設備部会

**主査会議** 開催日：12月1日。場所：協会会議室。  
出席者：佐野部会長、武田副部会長他4名。

#### 内容

平炉、転炉、電気炉各分科会の作成した能力算定式の説明が各主査よりなされ、部会としてこれを承認した。

### 資料委員会

**第16回委員会** 開催日：12月16日。場所：協会会議室  
出席者：雀部委員長他14名。

#### 議題・内容

##### 1. 40年度計画予算について。

40年度に、Trans B. I. S. I 開始予定のため、それに必要な予算額を検討。専務理事より、それにつき了承の答を得た。

##### 2. Trans B. I. S. I 購入の実際方法。

Trans の各ナンバーをそろえて購入する方が、経理および取扱い事務が簡単であるが、それでは希望社数が減るおそれがあるため、詳細は次回に持越しとなつた。

### 標準試料委員会

**第13回委員会** 開催日：12月3日。場所：学士会館(神田)。出席者：池上委員長他14名。

#### 議題・内容

##### 1. 第12回標準試料議事録確認。

##### 2. 標準試料委員会規程第2次案について。

##### 3. 標準試料委員会分科会、委員について。

フェロアロイ関係の委員を再検討して、フェロアロイ協会の方の承認を得ておく。

##### 4. 資金計画について。

分譲価格については、少し高いのでさらに社内的な

状況を各委員が調査することになった。

##### 5. 海外標準試料価格について。

### 試験高炉委員会

**第6回幹事会** 開催日：12月18日。場所：協会会議室  
出席者：八塚幹事会主査他7名。

### 国内炭活用、製鉄用コークス製造試験

**第4回鉄鋼小委員会** 開催日：12月17日。場所：協会会議室。出席者：速水委員長他20名。

#### 1. 報告事項

- (1) 設備工事進行状況
- (2) 設備費用の収支状況

#### 2. 協議事項

- (1) 試験計画
- (2) 試験予算
- (3) 委員会組織

このうち2.(1)は今回において可成はつきりした基礎固めができた。また、2.(3)については、試験実行が円滑化されるべく、実施委員会を置くことに決つた。

**国内炭・コークス製造試験鉄鋼小委員会および実施委員**  
委嘱 次の諸氏が鉄鋼小委員会および実施委員に委嘱された。

#### 鉄鋼小委員会

委員長：速水多根雄(富士製鉄)

委員：辻畑 敬治(八幡製鉄)、水野実(日本鋼管)、松沢真太郎(川崎製鉄)、下川 義雄(住友金属工業)、藤井東蒙男(神戸製鋼所)、米沢治千代(尼崎製鉄)、石川志郎(中山製鋼所)、中野 良知(日新製鋼)、堺 千代次(大阪製鋼)、松本 豊(鉄鋼連盟)、吉田 道一(鉄鋼協会)

幹事：沼 澄夫(富士製鉄)他2名

#### 実施委員会

委員長：白石 芳雄(八幡製鉄)

委員：辻畑 敬治(八幡製鉄)他14名

### 鉄鋼基礎共同研究会

**転位論グループ打合せ会** 開催日：12月24日。場所：協会会議室。出席者：橋口氏他6名。

#### 内容

研究テーマおよび研究費予算案作成のための打合せ会を行なった。

### 原子力照射試験研究合同委員会

**第8回委員会** 開催日：12月7日。場所：協会会議室  
出席者：長谷川委員長他31名。

#### 内容

1. 三菱原子力関係経過報告
2. 39年度計画の見積り変更説明
3. 照射炉外試験中間報告
  - (1) 神戸製鋼中研
  - (2) 東大井形研究室
  - (3) 東北大幸田研究室

(4) 東工大作井研究室  
また同日午後より第2回ジュネーブ会議報告輪講会を行なった。

ク リ ー プ 委 員 会

JIS 原案「鉄鋼材料の高温引張試験法」作成分科会  
開催日: 12月2日. 場所: 協会会議室. 出席者: 作井副委員長, 平主査他27名.

内 容

1. 工業技術院より鉄鋼協会あて本件の原案作成依頼があり, 実際作業をクリープ委員会が引受けるに到った経緯の説明.
2. 原案作成の参考資料として ASTM, BS, ISO, DIN, POCT の該当規格が提出され, 会員でこれを検討.
3. 素案作成幹事として, 京大・平教授, 住友金属, 神戸製鋼, 大同製鋼, 三菱重工, が指名された. 12月実施のアンケート結果に基づき1月20日の第2回分科会に素案を提出する.

ク リ ー プ 試 験 技 術 研 究 組 合

幹事会 開催日: 12月2日. 場所: 協会応接室. 出席者: 俵委員長および平委員長他8名.

第7回クリープ視察団打合せ 開催日: 12月16日. 場所: 京都館第3会議室. 出席者: 平教授他6名.

内 容

前回打合せの結果により, 各担当がレポートの修正したものの検討を行ない, 各報告は各論として原稿になるよう内容および文章を統一することとし, 当初の団の調査事項に関連させて見解を述べることなどが取り決められた.

なお最終的の取りまとめは団長平教授が作業することとなった.

設 備 技 術 共 同 研 究

懇談会: 開催日: 12月15日. 場所: 神田学士会館. 出席者: 村田委員長他20名.

内 容

設備技術共同研究の趣旨, 運営方法などについて機器メーカー側の意見を聞くため通産省, 機器メーカーおよび関係団体の方々と意見を交換した.

趣旨としてはいずれも賛同を得たが, 運営方法には特許の問題などむづかしい点が残されているというのが大体の意見であつた.

新 入 会 会 員 氏 名

(昭39年12月1日~12月31日)

正 会 員		岡本 弥彦 住友金属工業(株)		飯田 保 富士製鉄(株)	
青山 勝	川崎製鉄(株)	作田 和彦	和歌山製鉄所	内田 尚志	室蘭製鉄所
	千葉製鉄所	戸田 五郎	〃	佐々木三千夫	〃
渥美 昭吾	〃	秦 和夫	〃	鈴木 清策	〃
石原 徹	〃	畑田 泰郎	〃	平林 久男	〃
石原 登	〃	樋口 重夫	〃	吉田 一男	〃
岩田 光司	〃	福山 猛二	〃	千葉 富雄	釜石製鉄所
大部 素宏	〃	中村 昌弘	〃	吾郷 瞭生	日立金属工業(株)
久々奏英雄	〃	河本 泰岳	住友金属工業(株)本社		安来工場
佐々木 晃	〃	村上 浩路	〃	市川 景範	〃
志賀 勝利	〃	山村 清	〃	近藤 全範	〃
館野 次郎	〃	仲山 剛	中央研究所	沢田 良三	〃
田村 耕治	〃	阿部 保	(株)日本製鋼所	徳田 健次	〃
戸口久三郎	〃		室蘭製作所	古川 浩	〃
芳賀 雄彦	〃	一岡 敏夫	〃	吉谷 悟	〃
花井 稔	〃	岩崎 泰三	〃	田村 稔	三菱製鋼(株)
福武 剛	〃	門沢喜代治	〃		深川製鋼所
牧野来世志	〃	工藤 重孝	〃	木村 美啓	〃
三浦 恒	〃	沢田 進	〃	藤田 拓一	〃
森 徹郎	〃	志賀 靖彦	〃	山宮 邁	〃
米田 嘉三	〃	中里 栄一	〃	坂井 一男	大島製作所
渡辺 清司	〃	中田 進一	〃	鈴木 正樹	〃
野崎 喜暉	西宮工場	山崎 宏	〃	須田美千治	〃
浅井弥寿宏	住友金属工業(株)	矢口 裕康	〃	井上伊佐雄	日本鋼管(株)
	和歌山製鉄所	南部 洋平	〃		水江製鉄所
飯尾 和夫	〃	青木 朗	富士製鉄(株)	杉田 光弘	〃
浦西 康之	〃		広畑製鉄所	中島 竜一	鶴見製鉄所

西川 勝彦	日本鋼管(株)	技術研究所	浅田 良一	富山大学工学部	関岡 義昭	愛媛大学工学部
安斉栄太郎	(株)日立製作所	勝田工場	今村 雄一	〃	檜山 保弘	〃
黒沢 隆	〃	〃	笠間 正輝	〃	福泉 泰宣	〃
佐藤 昭男	〃	〃	川岸 義博	〃	松尾 寿	〃
下村 修	〃	〃	川田 勉	〃	村上 吉男	〃
武田 洋志	〃	日立工場	北方 充	〃	森岡 哲郎	〃
岩村 馨郎	金属材料技術研究所		木谷 茂之	〃	吉田 茂	〃
田頭 扶	〃		清田 文夫	〃	米岡 俊明	〃
宮地 博文	〃		桑原 定明	〃	藍原 邦夫	東京工業大学理工学部
高部 剛二	日新製鋼(株)周南工場		小塩 豊	〃	伊藤 穆	〃
林 秀雄	〃		小林 茂夫	〃	大江 潤也	〃
小泉 照一	理研製鋼(株)柿崎工場		笹谷 松雄	〃	N.D. ガルシア	〃
沢井 成行	〃		沢田 修	〃	川上 正博	〃
佐藤 孝樹	山陽特殊製鋼(株)		島田 昭弘	〃	神田 哲夫	〃
結城 晋	〃		島田 剛	〃	久保 邦彦	〃
関口 晁	大同製鋼(株)		頼戸 啓之	〃	小島 陽	〃
関尾 勲	〃		田熊 克行	〃	笹尾 英弥	〃
絹川 昭夫	関東特殊製鋼(株)		竹田 誠一	〃	竹田 博光	〃
田内 未人	〃		田中 実	〃	手島 光一	〃
守田 芳男	住友電気工業(株)		戸田 理一	〃	戸部 陽一郎	〃
駒田 進	(株)神戸製鋼所		長尾 哲哉	〃	平林 俊明	〃
	高砂工場		中村 豊司	〃	三原 種豊	〃
池田 純哉	日新製鋼(株)呉工場		西 製姿美	〃	後藤 武司	名古屋大学工学部
植田 光秋	八幡製鉄(株)		浜野 征一	〃	鈴木 勝康	〃
	戸畑製造所		古城 紀雄	〃	鈴木 優	〃
蔵田 繁登	東洋工業(株)		牧野 政昭	〃	野村 宏之	〃
長崎 久弥	東京工業大学理工学部		松川 信正	〃	樋口 充蔵	〃
	教授		宮崎 利夫	〃	菱田 護	〃
岩崎 清	大阪製鋼(株)		森 進	〃	町井 弘明	〃
上田 実彦	日立造船(株)		山脇 邦彦	〃	町田 洋二	〃
師岡 保弘	東北大学金属材料研究		若島 信夫	〃	浦出 羊治	関西大学工学部
	所		安部 博司	愛媛大学工学部	下村 光弘	〃
丸山 益輝	〃		伊藤 喬志	〃	藤崎 明	〃
近藤 登	日新製鋼(株)市川工場		池田 洵介	〃	大塩 信義	鉄鋼短期大学鉄鋼科
岡田 昭	関西製鋼(株)		今福 巖	〃	千葉 仁	〃
玉置 稔夫	日本鋼管(株)		小林 道也	〃	峰 芳隆	〃
	川崎製鉄所		児山 義邦	〃	小沢 捷正	茨城大学工学部
星野 清	国際電気(株)		後藤 剛志	〃	竹内 茂	北海道大学大学院機械
	学生会員		志賀 啓三	〃		専攻
青木 工紘	富山大学工学部		篠原 雅明	〃		
秋山 敏夫	〃		神出 秀城	〃		
			ドンディ・スバルティハル	〃		
			アルグンド	〃		

(特許記事 295 ページよりつづく)

**球状黒鉛鑄鉄の製造法**

特公・昭39-12230 (公告・昭39-7-1) 出願: 昭37-6-14, 発明: 金子悦司, 出願: 金子悦司

**けい素鉄合金粉末およびその製造法**

特公・昭39-12236 (公告・昭39-7-1) 出願: 昭37-9-24, 優先権: 1961-9-23 (ドイツ), 発明: クラ

ウス・フェルトマン, クラウス・フランク, ヨハン・クテスカ, 出願: クナツプザック・グリーンズハイム・アクチェンゲゼルシャフト

**鋼の特殊熱処理方法**

特公・昭39-12238 (公告・昭39-7-1) 出願: 昭37-8-8, 発明: 守田貞義, 佐藤誠, 古屋光雄, 山口義則, 梅田昭雄, 出願: 八幡製鉄株式

会社

**極低炭素磁性材料の製造法**

特公・昭39-12239 (公告・昭39-7-1) 出願: 昭36-10-28, 発明: 一戸正良, 出願: 八幡製鉄株式会社

**二方向性磁性鋼板の製造方法**

特公・昭39-12241 (公告・昭39-7-1) 出願: 昭37-3-19, 発明: 高橋賢司, 出願: 八幡製鉄株式会社